

伊方町議会第84回定例会に係る一般質問通告内容

質問者	質問の大綱	質問の相手
阿部 孝志 議員	1 ゴミのポイ捨て問題について	町 長
質問の要旨		
<p>行政におけるゴミのポイ捨て問題について、観光や移住・定住、そして日常の安心感という視点から、質問させていただきます。</p> <p>私は議員としてまだ経験も浅く、日々、町民の皆さまの声に耳を傾けているところであります。</p> <p>その中で、「せっかく掃除しても、またゴミが捨てられる」「観光で来た人にどう思われているのか心配だ」といった声をお聞きすることがありました。</p> <p>伊方町は、佐田岬半島の自然や美しい海に恵まれ、観光地としてだけでなく、静かで落ち着いた暮らしができる町であると、私自身感じております。</p> <p>だからこそ、道路沿いや港、生活道路など、日常の場にゴミが放置されている状況を見ると、少し残念に思うと同時に、「行政として、何かできることはないだろうか」と考えるようになりました。</p> <p>そこで、まずお伺いたします。</p> <p>①本町におけるポイ捨て対策の現状と、清掃や対応にどの程度の労力やコストがかかっているのか、また、特に課題となっている場所について、町の認識をお聞かせください。</p> <p>次に、今後の取り組みについてお伺いたします。</p> <p>現在も、職員の皆さまや地域の方々によって、清掃活動や啓発が行われていることは承知しております。一方で、それだけでは限界があるのではないかと感じております。</p> <p>②重点的に対策を行う場所を定めることや、啓発の工夫、必要に応じた監視体制の検討など、より効果的な取り組みを進めていく考えはあるのか、お聞かせください。</p> <p>次に、観光や移住・定住との関係についてお伺いたします。</p> <p>観光客や移住を検討されている方が町を訪れた際、最初に目にするのは、観光施設よりも、道路や集落、港といった町の日常の風景ではないでしょうか。</p> <p>その風景がきれいであるかどうかは、「この町で安心して暮らせそうか」という印象に、自然とつながっていくものだと思います。</p> <p>③本町の観光施策や移住・定住施策の中で、景観の美しさや、清潔で安心して暮らせる日常環境を、どのように位置づけているのか、お伺いたします。</p> <p>また、近年では、観光をきっかけに町に親しみを持ち、移住を検討される方も増えていると聞いております。そうした方々にとって、町が大切にされ、住民が協力してきれいに保たれている姿は、「この町なら安心して暮らせる」という大きな安心材料になるのではないのでしょうか。</p> <p>④ポイ捨て対策や町美化の取り組みを、環境対策としてだけでなく、観光振興や</p>		

移住・定住、そして町民が日常的に安心して暮らせる環境づくりとして、関係部署と連携しながら進めていく考えはあるのか、町のお考えをお聞かせください。

伊方町の魅力を、「訪れて感じる魅力」だけでなく、「暮らして実感できる魅力」として高めていくためにも、ポイ捨てのない、きれいな町づくりは、とても大切な取り組みであると考えます。

今後も、町民の皆さまと行政が一緒になって、より良い伊方町をつくっていくための一歩として、本件について前向きなご答弁をいただければと思います。